

令和８年度 地域未来交付金事業 電子黒板購入

仕 様 書

1. 総 則

本仕様書は、能登町が能登町立小中学校において購入するプロジェクター（電子黒板）の仕様について定める。

- （１）本体及び装備品等は、本仕様書による。
- （２）受注者は、本仕様書を十分検討のうえ契約するものとする。

2. 納入場所及び納入数量

- （１）能登町立宇出津小学校 6 台
- （２）能登町立鶴川小学校 6 台
- （３）能登町立柳田小学校 3 台
- （４）能登町立小木小学校 6 台
- （５）能登町立能都中学校 6 台

3. 納入期限

令和８年８月３１日（月）

4. その他

別紙で示す例示品以外の同等品で応札する場合は、次のとおり手続きを行い、承認を得なければならない。

- （１）同等品申請書兼承認書（別紙参照）及び関係書類の提出
※ 関係書類は、カタログ、仕様書、価格表等とする。
- （２）同等品申請書兼承認書による承認
- （３）手続先 能登町教育委員会事務局
- （４）承認者 能登町教育委員会事務局長
- （５）期 限 令和８年６月１７日（水） 午前１０時まで

5. 連絡先

能登町教育委員会事務局 電話：０７６８－６２－８５３７

プロジェクター（電子黒板）

例示品

I. プロジェクター本体	EPSON インタラクティブ（電子黒板）機能搭載モデル EB-770Fi
(1) 輝度	4,100lm
(2) 投影方式	3LCD 方式（3 原色液晶シャッター式投映方式）、レーザーダイオード
(3) 液晶パネル画素数（横×縦×枚数）	1920×1080×3、FullHD
(4) 液晶パネルサイズ（対角：型）	0.61
(5) 質量	約 6.0kg
(6) スピーカー	16W（モノラル）
(7) 無線 LAN	内蔵され証明書認証に対応
(8) 本体サイズ	W356×D395×H133mm
(9) 動作温度	0～40
(10) ソフトウェア	プロジェクター投影に必要なメーカー純正ソフトウェア
(11) HDMI	3 系統搭載
(12) 電子ペン機能	専用ペン 2 本（異なる色で記入できるもの）

II. プロジェクター用壁掛け金具	EPSON 製壁掛け金具 ELPMB62
(1) 外形寸法	W550×D906×H280mm
(2) 壁掛け金具質量	約 9.2kg
(3) 最大荷重	約 15.0kg

III. インターフェースボックス	EPSON 製インターフェースボックス ELPCB03N
(1) 映像入力端子	ミニ D-sub15pin×2、RCA×1、HDMI×2、USB-A×1、USB-B×1
(2) 音声入力端子	ステレオミニ×3、RCA コネクタ×1、マイク×1、AUX×1
(3) 映像出力端子	ミニ D-sub15pin×2、RCA×1、HDMI×2、USB-A×1、USB-B×1
(4) 音声出力端子	ステレオミニ（3.5mm）×2
(5) 制御出力端子	RS-232C（9pin）×1
(6) ソース切り替え	コンピューター1・2/ビデオ/USB(A/B)/HDMI1/HDMI2/HDMI3/LAN
(7) 本体サイズ	W230×D83×H226mm（ペンホルダー、突起部除く）
(8) 質量	1.2kg（ケーブルカバー含む、ペンホルダー除く）
(9) 消費電力	6W（スタンバイモード 0.1W）

IV. プロジェクタースクリーン	サンワサプライ製プロジェクタースクリーン（マグネット式） PRS-WB9018K
(1) 寸法	W1800×D900mm、シート厚 0.53mm
(2) 質量	2.85kg
(3) アスペクト比	16:9
(4) 対角線サイズ	65 型
(5) 付属品	本体、マーカーペン（赤・青・黒）、イレーサー、トレー

V. その他納品物

下記のケーブルを用意すること。各ケーブルの長さは、プロジェクター設置位置とインターフェースボックスの設置位置を考慮した長さであり、必要があれば専用の延長ケーブルを用意すること。

- (1) RS-232C クロスケーブル DB9 メス/DB9 メス
- (2) HDMI ケーブル ×2 本
- (3) USB2.0 ケーブル Type-A to Type-B (データ転送可能なもの)

VI. 機器設置・設定

- (1) 町が指定する教室にプロジェクター（電子黒板）を取り付けること。
- (2) 各教室の天井、壁、梁、黒板等の形状に応じ適切に取り付けること。
- (3) 投影サイズ、映像の調整（歪み補正等）を行うこと。
- (4) 投影映像及びサイズは、マグネットスクリーンに対応していること。
- (5) 各校の既存ネットワークに接続すること。
- (6) ネットワーク接続作業においては、保守業者に確認し費用も見込むこと。
- (7) インターフェースボックスを設置し、操作及びコンピューター等から映像の投影ができるようにすること。

VII. その他

- (1) この事業に必要な機器、部材等はすべて落札業者が調達すること。また、調達する機器等の正常な設定、動作、確認については、落札業者の責任において行うこと。
- (2) 機器等の調達に関する不明な事項については、落札業者のみで判断せず、町と協議のうえ判断すること。
- (3) 機器等の設計、開発、調整、試験、搬入を実施するにあたっては、日程及び方法について、町と協議し了承を得ること。
- (4) 作業において発生した廃材等は、落札業者が処分すること。
- (5) この仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに協議のうえ決定するものとする。
- (6) 仕様書に示されていない事項であっても、本システムが正常に稼動するために必要機器・消耗品等については、落札業者の責任において調達し、設定、設置等一切の作業を実施すること。